

※新型コロナウイルス感染症の拡大防止に伴い「令和7年9月25日開催予定の運営推進会議」は中止とさせていただきます、運営推進委員には会議資料を配布致しました。

第80回 ケアハウスえんれい草 運営推進会議録

	利用者状況	・定員29名　現在利用者数28名（内、男性10名　女性18名） ・各階要介護度状況																														
		<table><tr><td></td><td>要支援1</td><td>要支援2</td><td>要介護1</td><td>要介護2</td><td>要介護3</td><td>要介護4</td><td>要介護5</td></tr><tr><td>1F</td><td>0名</td><td>0名</td><td>7名</td><td>4名</td><td>2名</td><td>0名</td><td>0名</td></tr><tr><td>2F</td><td>0名</td><td>0名</td><td>9名</td><td>6名</td><td>0名</td><td>0名</td><td>0名</td></tr><tr><td>合計</td><td>0名</td><td>0名</td><td>16名</td><td>10名</td><td>2名</td><td>0名</td><td>0名</td></tr></table> ・入居待機者：1名		要支援1	要支援2	要介護1	要介護2	要介護3	要介護4	要介護5	1F	0名	0名	7名	4名	2名	0名	0名	2F	0名	0名	9名	6名	0名	0名	0名	合計	0名	0名	16名	10名	2名
	要支援1	要支援2	要介護1	要介護2	要介護3	要介護4	要介護5																									
1F	0名	0名	7名	4名	2名	0名	0名																									
2F	0名	0名	9名	6名	0名	0名	0名																									
合計	0名	0名	16名	10名	2名	0名	0名																									
活動報告	事故並びに ヒヤリハット	事故内容																														
		8月7日　6時15分頃　2階入居者　91歳　女性　要介護1 いつもはまだ就寝している時間だが珍しく居室が明るかったため鍵を開錠し訪室。ご本人はベッドで臥床していたがカーテンが空いており窓とソファの間に物干しがバラバラに散乱していた。本人に聞くと「いつ転んだか分からないが頭とお尻が痛い」と話す。身体確認すると左頭頂部にテニスボール大の腫脹がみられる。 ご本人はお尻の痛みの方が強く訴え、本人用の湿布を臀部に貼付し頭部はアイスノンでクーリングを行う。看護師出勤後、深川市立病院脳神経外科受診しレントゲン・CT撮影施行するも異常なしの診断となる。その後も異常なく生活されています。 〈今後の対応策として〉 夜間帯はご本人が自ら施錠していた場合、鍵を開けて中の様子は確認していなかったが、今後は巡回時に開錠し様子確認を行います。																														
		8月9日　6時12分頃　2階入居者　92歳　女性　要介護1 コールがあり訪室すると窓と平行な状態になり床で長座位になっている。ご本人より「カーテンを開けようとしたらフラツとなってカーテンに掛まりスルスルと落ちたから痛い所はない」「起き上がれないので起こしてほしい」と話す。介助にて立ってもらい歩いてベッドへ戻られる。転倒時は血圧の上昇がみられ、ベッドで安静にもらい、時間の経過とともに血圧も安定される。 〈今後の対応策として〉 以前も転倒した経緯があり眩暈の訴えもあるため今後、カーテンの開け閉めは職員が対応する事にしました。																														
		8月24日　18時00分頃　1階入居者　96歳　女性　要介護1 食堂にて食事をし、食事が終わった様子がありません。シンクの上にある薬を取り振り返ると上半身が痙攣を起こしている状態を発見する。声掛けしながらタッピングを行いながら2階にいた夜勤者を呼ぶ。義歯上下を外した際に2cm程の肉片（噛み跡あり）が出てくる。その後も声掛けしながらタッピング続け、呼吸ができるように口腔内に指を入れる。呼吸を確認するも顔面蒼白のため救急車を要請し管理者と家族にも連絡を行う。深川市立病院へ救急搬送行が搬送中に脈が触れなくなり心臓マッサージを行いながら病院到着。自発呼吸困難な状態で気管挿管し人工呼吸器を装着する。救急外来医師より家族へ「自発呼吸は困難な状況で、このまま様子を見て心臓がいつ止まるか分からない状況」と説明がある。家族より「延命は希望しない」と医師に伝え人工呼吸器を外す。19時34分誤嚥に起因する呼吸不全で急逝される。 なお、救急隊からは「救急隊到着時、脈は触れており喉に何が詰まっている状況ではなかった。救急搬送中に脈が触れなくなり呼吸も止まったため心臓マッサージを行った」と聞く。 〈今後の対応策として〉 むせ込み防止や誤嚥防止のため口腔体操を実施しているが、参加を促し嚥下機能低下防止に努めます。また、食事時の見守りを強化し万が一に備え救急時の対応策を再確認いたします。																														
		9月3日　10時19分頃　2階入居者　92歳　女性　要介護2 居室前を通ると「助けて下さい」と聞こえ訪室。ベッド頭側にあるプラスチックの引き出し横で窓を背に長座位になっている所を発見する。本人より「携帯電話を取ろうとして眩暈がして転んだ」と話す。右足大転子部に腫脹と強い痛みがあり足を動かさない状態のため救急車を要請し砂川市立病院へ救急搬送される。レントゲン等の検査により右大転子下骨折の診断となり翌日に手術を施行する。同病院では3週間の入院予定で転院しリハビリを継続する。 〈今後の対応策として〉 普段廊下を移動する時はシルバーカーを使用していたが居室内では使っていなかった。今後は居室内でもシルバーカーを使用していただき職員も訪室回数を多くし様子観察を行います。																														
		9月5日　4時01分頃　2階入居者　96歳　女性　要介護2 コールがあり訪室するとベッド横の床で長座位になっている。「滑って落ちたのさ」「立てなくて、立たせてもらおうと思って」と話す。痛みの確認をするが「痛い所はない」と話すため介助にて立って頂きベッドへ端座位になってもらう。「助かったわ」「また寝るから、すまなかったね」と笑いながら話している。身体状況確認するも異常なし。 〈今後の対応策として〉 夜間や日中においても睡眠時の体制を確認し背中や腰を壁側へ近づけるよう介助していきます。																														

		9月21日 21時50分頃 2階入居者 93歳 男性 要介護1 事務所にいた所、物音が聞こえ巡回すると居室電気がついており訪室。テレビ台を背にしてあぐらをかいて座っている。「トイレに行こうと思ったら滑ってぶつけた」と右腰部を押さえながら言われる。この時テレビ台とカーペットの位置がズレており、パジャマの下衣も下がり足が全部パジャマの中に入っている状態であった。 自分で立ち上がりトイレに行かれる。右背部から腰部の間にかすり傷があるが転倒したことを忘れていた。 〈今後の対応策として〉 パジャマがブカブカで足がもつれ、滑ったと思われる。サイズの確認を行い、ご本人のサイズに合ったものを着用していただきます。
利用者活動状況		・ 8月 6日 4施設合同盆踊り ・ 9月10日 長寿を祝う会(手打ちそば披露) ・ 9月24日 9月誕生会
職員研修状況		・ 9月10日 北海道介護支援専門員協会主催 認定調査員現任者研修(オンデマンド) 生活相談員参加
その他		・ 8月27日 水害想定避難訓練実施
次回会議開催予定		令和7年11月27日(木曜日) 午前10時30分～ ケアハウスえんれい草 2階相談室